

over Design / Lina Sugimoto (WPP Design Section)



6 過去を未来につなぐ仕事人インタビュー

EI建築設計事務所/徳本栄三

26

古民家再生と設備の関係

- 01.神奈川県『浄明寺の蔵』
- 02.東京都『野﨑酒蔵』
- 03.奈良県『奈良町の家』
- 04.岡山県『久米南町の家』
- 05.栃木県『むくり屋根の家』
- 06.広島県『A邸』
- 07.岡山県『浜野の家』
- 08.島根県『石州瓦の家』
- 09.大阪府『豊能町の家』
- 10.兵庫県『伊保の家』







古民家スタイル

Contents 02





74 日本の原風景/写真集

生きている茅葺き民家



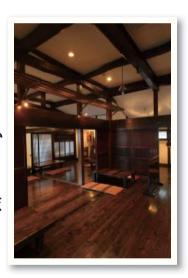
写真=槇村太郎

加癒しの食事処

1.栃木県/レストラン古陶里 4.大阪府/天の川 なかなか

2.滋賀県/れすとらん100年民家 黒釜 5.京都府/ロバ

3.栃木県/KITCHEN 菜胡野家 6.東京都/古民家カフェ こぐま



142 古民家相談窓口

>>> 【連載コラム】

10 切り絵で描く古民家。 文=久保修

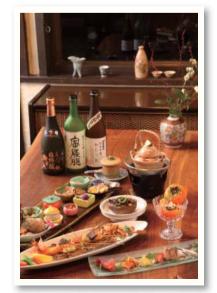
12 古民家を継承する模型の力 文=菅野清八

16 世界の古民家紀行 写真·文=長谷川和男

72 東京の伝統工芸巡り。 文=井上雅史

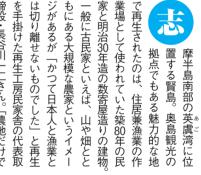
4 鬼を巡る旅 写真=大東照男 文=岡田親彦

109 にっぽんの方言 文=真田信治









が多くあるということを知ってほしなく、海辺にも再生に値する古民家

2棟の古民家は「外部でありながら部屋のように使える場」を意図して中央に大きな炉を設けたデッキでつなげ、母屋は、和室を板張りに変更して床レベルを一段下げ、囲炉裏の間や薪ストーブのあるダイニングを設けている。移築の数寄屋造りは、設備などは付加せず、もとの建物を忠実に再現。当時の空間を存分に楽しめる場とした。「古民家には先人が培ってきた日本文化が込められています。日本人の資質が失われつつある今、古民家の再生を通してそれを伝えられたらと考えています」。

●写真左の民家が現地再生で、右は石場立ての伝統構法にこだわって再生された三重県四日市からの移築。目の前にはプライベートハーバーがある。②薪ストーブはカナダ製「ハンプトン H300」。再生工房民家舎は、30年以上前から薪ストーブの輸入販売、設置業務を行なう株式会社グランビルの建築部門。古民家再生の現場見学や薪ストーブショールーム訪問でその仕事に触れるのもいいだろう。見学希望の方は ● 120-40-2234まで。 ③ 築80年の民家は、メインの空間を畳から板張りに変更。 建具も撤去し大きなワンルーム空間に。見応えのある梁出し天井は既存のまま。

望の方は 120-40-2234まで。 120-40-2334まで。 120-40-2334を、 120-40-2334を、











●四間取りの一室を利用した囲炉裏の間。 右端に写るのは新発売の壁掛け式暖炉、英 国Esse社製の「Fire Wall」 ②2つの古民 家で囲むようにデッキを配置し、外部であ りながらプライベートな空間に。 ③2階の ロフトは天井高が1.5mもない。まさに屋根 裏部屋といったイメージのユニークなスペース。②薪ストーブを利用したサウナは「実際に本場のフィンランドサウナを体験して、それに近づけて作製しました」と長谷川さん。 ③現地再生した民家は総二階。開口によって目の前の英虞湾の景色が切り取られ、まるでパノラマ写真のよう。 ③移築再生物 件の座敷は、床の間や天井板から格調の高 さが見てとれる。 ④既存構造をいかしているため、外部への開放感を堪能することができる。





